



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

2024年3月19日(火)
労働政策フォーラム／大学等の質保証人材育成セミナー

キャリア形成に寄与する 学び直し・リカレント教育

労働政策研究・研修機構
統括研究員 堀 有喜衣 (ほりゆきえ)

本日の趣旨説明の内容

学び直し・リカレント教育の背景と定義

三すくみ状態（リカレント教育）の打破のために

労働市場における共通言語：日本版O-NET

教育領域における翻訳装置：NQF

フォーラムの全体紹介

本フォーラムの趣旨・目的

なぜいま、学び直し・リカレント教育が重要なのか？

- * 技術革新：第四次産業革命（デジタル化）により、雇用の自動化による雇用喪失が予測（森山報告）
- * 職業人生の長期化
- * 新しい資本主義「人への投資」
- * 日本の労働市場の編成原理を「メンバーシップ型」から「ジョブ型」に変えようとする動きとも呼応。

学び直し・リカレント教育の概念

教育振興基本計画

(令和5年6月16日閣議決定)

リカレント教育とは、学校教育を修了した後、社会人が再び学校等で受ける教育のこと（recurrent：循環）。職業から離れて行われるものか、職業に就きながら行われるものかを問わず、職業に必要とされるスキルを身につけるためのリスキリングや、職業とは直接的には結びつかない技術や教養等に関する学び直しを含む概念として用いている。

厚労労働省HP:学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくことがますます重要になっています。

このための社会人の学びをリカレント教育と呼んでおり（中略）

リカレント教育

社会変化への対応や自己実現を図るための
以下①～③を内包した社会人の学び直し

①リスキリング

時代のニーズに即して職業上新たに
求められる能力・スキルを身に付けること

②アップスキリング

現在の職務を遂行する上で求められる
能力・スキルを追加的に身に付けること

③職業とは直接的には結びつかない 技術や教養等を身に付けること

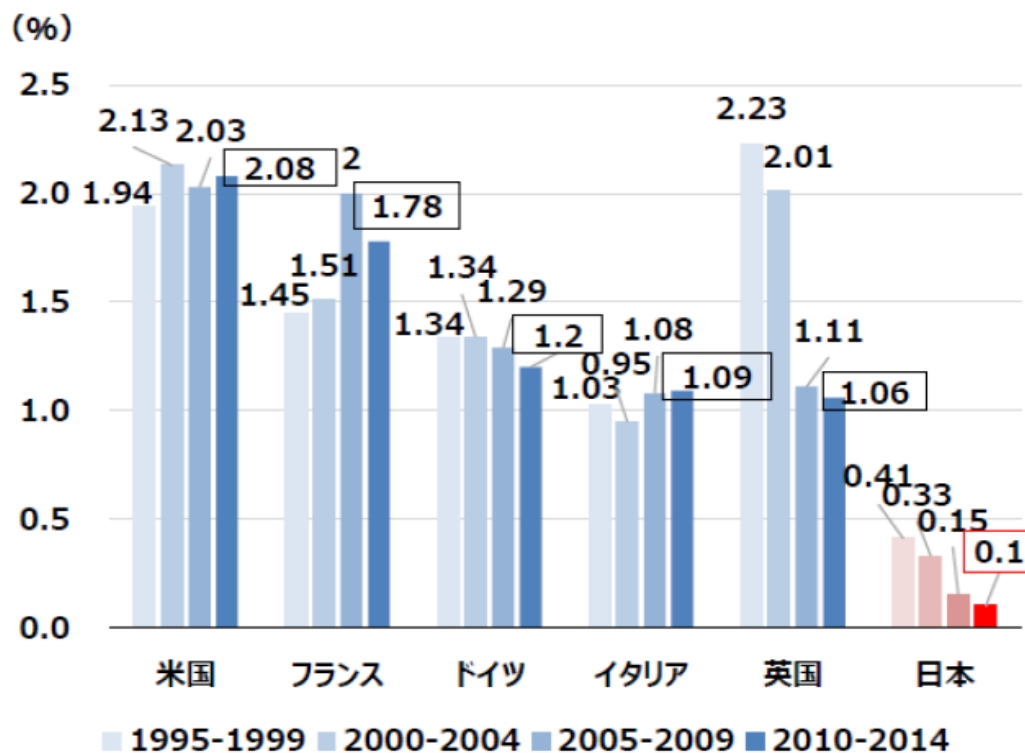
※第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理を踏まえたイメージ図

企業は学ぶ機会を与えず、個人も学ばない傾向が強い

教育未来創造会議
第一次提言参考資料より。

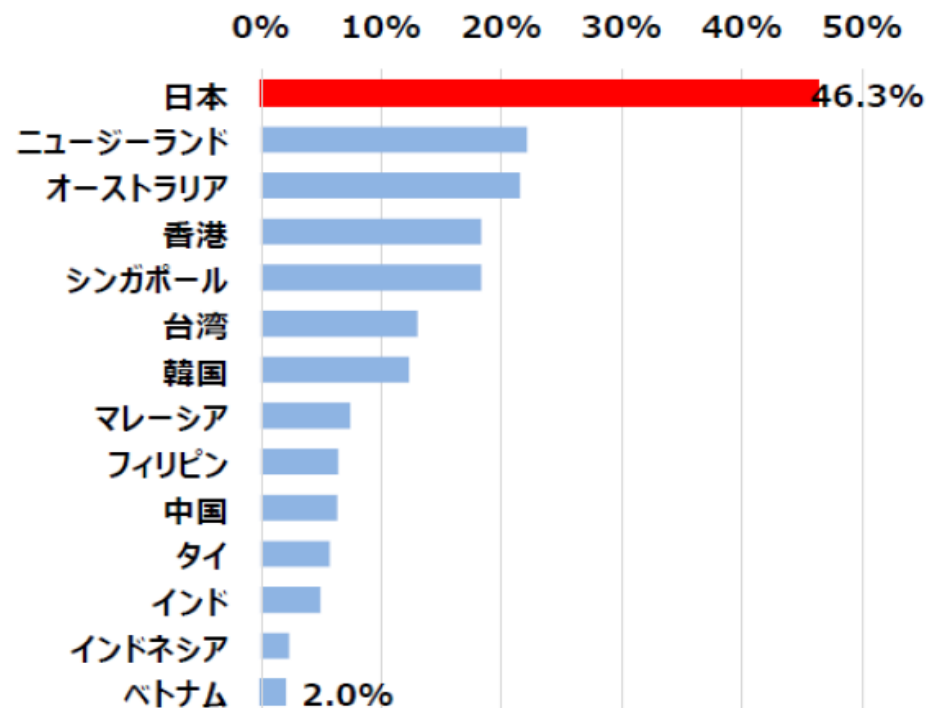
- 日本企業のOJT以外の人材投資（GDP比）は、諸外国と比較して最も低く、低下傾向。
- 社外学習・自己啓発を行っていない個人の割合は半数近くで、諸外国と比較しても不十分。

人材投資（OJT以外）の国際比較（GDP比）



（出所）学習院大学宮川努教授による推計（厚生労働省「平成30年版労働経済の分析」）を基に経済産業省が作成

社外学習・自己啓発を行っていない人の割合



（出所）パーソル総合研究所「APAC就業実態・成長意識調査（2019年）」を基に経済産業省が作成

現状は企業・個人・教育機関が「三すくみ」の状態

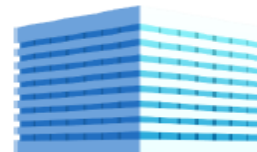
大学・大学院等



- ・企業ニーズや社会人ニーズが分からない
- ・教育プログラムを用意しても定員が埋まらない
- ・夜間や土日の教育にはコストがかかる
- ・若年層以外のマーケットが拓かれていない

境界を越える
ための装置

企業又は団体



- ・社員にスキルを身に付けさせると退職される
- ・社員には学ぶよりも働いてもらいたい
- ・社外でどんな教育が行われているか分からない
- ・経営者自身にリカレント教育の経験がない

社会人



- ・何を学べばよいか分からない
- ・学んだことが処遇に反映されるか不安
- ・働きながら学ぶことに雇用主の理解が得られない
- ・自ら学ばなくても失業リスクは低い

世界的に見ても圧倒的に立ち遅れており、我が国の経済成長、労働生産性の向上、個人のウェルビーイング実現にとって危機的状況

- 我が国の労働力人口の急激な減少は不可避であり、労働者一人ひとりの生産性向上が急務
- 成人の学習参加率が高いほど、時間当たりの労働生産性が高い傾向
- 米国企業の人材投資（GDP比）は、日本企業の20倍以上
- 我が国の労働者は現在の勤務先に継続勤務する意欲は低い、転職も起業もする意欲も低い（主要アジア各国中最低）

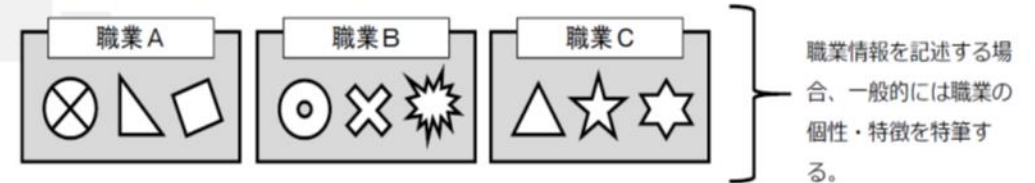
境界（教育界／労働界・企業間・国や社会） を越えるための、共通言語／翻訳装置の創出／見える化

職業能力の「見える化」と社会的な承認

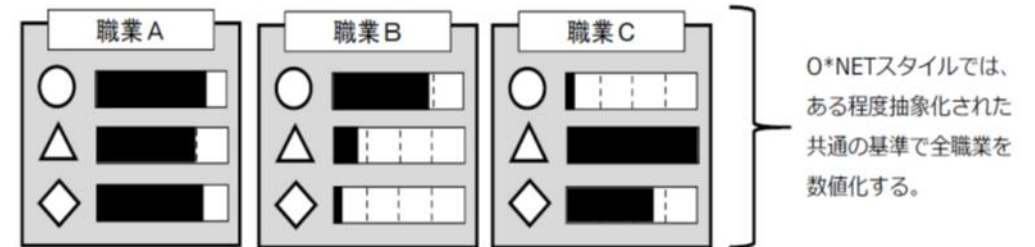
⇔ホワイトカラーの職業能力証明
（職業能力評価基準や、ビジネスキャリア制度、ジョブカード等）

日本版O-netにおける「タスク」による共通言語の創出

他国で一般的に用いられている職業情報スタイル



O*NETの数値情報における職業情報スタイル



- ・ 抽象化された共通の基準に基づき、全職業を数値化。
- ・ 希望する職業や自分に不足するタスクを把握し、必要な学びにつなげる。

※これらの図表は2020年9月公開の「キャリア教育概説」鎌倉担当節より抜粋。

全国資格枠組み (National Qualifications Framework: NQF)

- 各国内の学位・資格などのqualifications情報を**一元的に整理し、可視化を図る参照ツール**
- 各国の異なる**学位・資格の読みやすさ(readability)・比較可能性(comparability)**を高める**翻訳装置**
- これまで別々に制度づけられてきた**多様な教育訓練セクター間の関係を明らかにし、各セクターで獲得される資格に対してアウトカムや水準を設定**
- 現在、**150ヶ国以上で導入・検討**(うち130ヶ国以上で開発・導入・評価において発展的段階にあると報告: Keevy, 2020)



Source: European Union, 2014

Japanese Educational Qualifications Framework (tentative)

日本の教育資格枠組み (試案)

2023.8.21

Level	Qualifications
8	<ul style="list-style-type: none"> ● Doctoral degree/ 博士
7	<ul style="list-style-type: none"> ● Master's degree/ 修士 ● Master of XXX (Professional)/ 修士 (専門職) ● Master of Education (Professional)/ 教職修士 (専門職) ● Juris Doctor/ 法務博士 (専門職) ● Bachelor's degree (Medical, Dentistry, Pharmaceutical Sciences (Clinical), and Veterinary Medical Science) / 学士 (医学、歯学、薬学 (臨床目的)、獣医学)
6	<ul style="list-style-type: none"> ● Bachelor's degree/ 学士 (学士 (医学、歯学、薬学 (臨床目的)、獣医学) は除く) ● Bachelor's degree (Professional)/ 学士 (専門職) ● Advanced diploma/ 高度専門士
5	<ul style="list-style-type: none"> ● Associate degree/ 短期大学士 ● Associate degree (Professional)/ 短期大学士 (専門職) ● Associate/ 準学士 ● Diploma/ 専門士 ● Certificate of Completion (two or more year advanced course)/ 修了証書 (専攻科 2 年以上) <ul style="list-style-type: none"> • Upper secondary school/ 高等学校 • Upper division, secondary education school/ 中等教育学校後期課程 • Upper secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校高等部
4	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation (one year course in professional training college)/ 卒業証書 (専修学校専門課程 1 年制) ● Certificate of Completion (one year advanced course)/ 修了証書 (専攻科 1 年制) <ul style="list-style-type: none"> • Upper secondary school/ 高等学校 • Upper division, secondary education school/ 中等教育学校後期課程 • Upper secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校高等部
3	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation/ 卒業証書 <ul style="list-style-type: none"> • Upper secondary school/ 高等学校 • Secondary education school/ 中等教育学校 • Upper secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校高等部 • Upper secondary course, specialized training college/ 専修学校高等課程 ● Certificate of Completion (3rd grade of regular course, college of technology)/ 修了証書 (高等専門学校 3 年次修了) ● Certificate (Upper secondary school equivalency examination)/ 高等学校卒業程度認定試験合格証書
2	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation/ 卒業証書 <ul style="list-style-type: none"> • Lower secondary school/ 中学校 • Compulsory education school/ 義務教育学校 • Lower secondary department, school for special needs education/ 特別支援学校中学部 ● Certificate (Lower secondary school equivalency examination)/ 中学校卒業程度認定試験合格証書
1	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation/ 卒業証書 <ul style="list-style-type: none"> • Elementary school/ 小学校 • Elementary department, school for special needs education/ 特別支援学校小学部

Japanese Educational Qualifications Framework (tentative)

2023.8.21

Level	Qualifications
8	<ul style="list-style-type: none"> ● Doctoral degree
7	<ul style="list-style-type: none"> ● Master's degree ● Master of XXX (Professional) ● Master of Education (Professional) ● Juris Doctor ● Bachelor's degree (Medical, Dentistry, Pharmaceutical Sciences (Clinical), and Veterinary Medical Science)
6	<ul style="list-style-type: none"> ● Bachelor's degree ● Bachelor's degree (Professional) ● Advanced diploma
5	<ul style="list-style-type: none"> ● Associate degree ● Associate degree (Professional) ● Associate ● Diploma ● Certificate of Completion of two or more year advanced course in: <ul style="list-style-type: none"> • Upper secondary school • Upper division, secondary education school • Upper secondary department, school for special needs education
4	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation of one year course in professional training college ● Certificate of Completion of one year advanced course in: <ul style="list-style-type: none"> • Upper secondary school • Upper division, secondary education school • Upper secondary department, school for special needs education
3	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation <ul style="list-style-type: none"> • Upper secondary school • Secondary education school • Upper secondary department, school for special needs education • Upper secondary course, specialized training college ● Certificate of Completion of 3rd grade of regular course, college of technology ● Certificate of upper secondary school equivalency examination
2	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation <ul style="list-style-type: none"> • Lower secondary school • Compulsory education school • Lower secondary department, school for special needs education ● Certificate of lower secondary school equivalency examination
1	<ul style="list-style-type: none"> ● Certificate of Graduation <ul style="list-style-type: none"> • Elementary school • Elementary department, school for special needs education

フォーラムの内容（敬称略）

- 「AIと共に働くための学び直しとは？」（森山報告）
- 「産業人材ニーズと大学教育内容の関係の見える化の試み」（宮本報告）

パネルディスカッション（3月19日：13時50分開始16時15分終了）

学び直し・リカレント教育現場からの事例

- 職業訓練の実践の取組（寺床報告）
- 東京理科大の事例（小原報告）
- 愛媛大学の事例（治多報告）

参考文献

- 堀有喜衣, 2022, 「質保証への期待－労働研究の立場から」 「質保証セミナー」資料.
- 鎌倉哲史, 2020, 「職業情報ツールの活用」日本キャリア教育学会編『新版 キャリア教育概説』東洋館出版社.
- 文科省, 2023, 「文部科学省におけるリカレント教育推進の現状と課題」大学評価・学位授与機構「質保証セミナー」資料.
- 野田文香, 2022, 「シームレス化する高等教育」 「質保証セミナー」資料.